

# 北海道拓殖鉄道 学習レポート

## 開拓の命 拓殖鉄道の全盛

拓鉄は昭和3年にでき、然別湖からの木材や、ビート(砂糖の原料)を運んだりして活躍し、開拓の命だった。拓鉄ができるまでは、馬車で移動していた。また、瓜幕の駅の横には日本通運があったそうだ。すべて手作業で行われていたという。

足寄までの計画があったそうだが、それは取りやめになってしまった。賛成する人が少なくなったからと、凶作が続いていて足寄間へのお金が無かったためだ。それからどんどん拓鉄は休止、停止、廃止されていった。

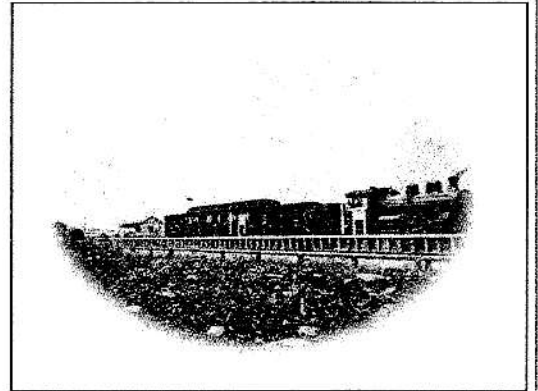
昭和24年に東瓜幕—上士幌間停止。

昭和42年に瓜幕—東瓜幕間廃止。

昭和43年に新得—瓜幕間廃止。

そして、1968年ついに全線廃止になる。現在、鹿追駅跡の前は拓殖バスの営業所となっている。

写真は全て北海道拓殖鉄道—nifty から引用



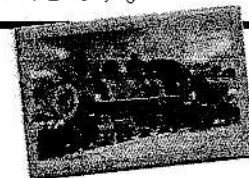
## 気になる事

瓜幕に駅は3つもあり、とても栄えていたと聞いてびっくりした。しかも今は静かな所が栄えていたなんて……。想像できない。確かに角のところに、今にも崩れそうな建物が建っているけれど、それだけではよくわからない。でも、今回のことがあって行ってみたいくなった。どんな感じだったのか気になる。



## あとがき

瓜幕に引っ越して来た時に、駅の跡と石碑があったので初めはすごく気になりました。廃墟も何故かかたまっで建っていたのでいつか調べてみたいなと思っていたので、今回は調べられてよかったです。お話を聞いている時に、タイムスリップして当時の色々な所を自分の目で確かめてみたいとあり得ないことを想像していました。拓殖鉄道のことが、たくさん知れたので本当に良かったです。



# 北海道拓殖鉄道 学習レポート

## 調べて分かった真実

### 拓殖鉄道について

私たち瓜幕中1年は鹿追の文化や歴史を知るべく当時をよく知る堀川昌廣さんに話をお聞したり、「鹿追町柏が丘交差橋跡」を見に行ったり、鉄道にとっても詳しい増田さんに話をお聞したりしました。

北海道拓殖鉄道は、中木伊三郎氏によって昭和3年に開業し、昭和43年に廃線になった。

当初の予定では、足寄まで鉄道が通る予定だったが、完成できずに終わってしまった。増田さんの話によると、昔は大きな機械もなく線路をひくにも橋を架けるにもトンネルを掘るにも、全てが人の手によるものだったということです。今だったら重機などがあってスムーズに終わるものを人の手を使って今の倍以上の時間を使って拓鉄の線路やトンネルを作り上げた昔の人たちがとてもすごいと思いました。



## 拓鉄を学んで

僕は今回の学習で初めて瓜幕や鹿追に拓殖鉄道という鉄道が走っていたということを知りました。ですから、これからはもっと拓殖鉄道に誇りを持って広めていきたいと思いました。

5年後は拓殖鉄道100周年なので、その時には拓殖鉄道についてのイベントがあればぜひ行ってみたいです。

## あとがき

この学習レポートを作ってみて思ったことは文章を作るのは難しかったですが、達成感があったのでよかったです。

